

議員説明会資料

知と交流の拠点施設整備事業等の進捗状況について

1.	進捗状況	P	2
2.	まちなかの回遊性向上に向けた取組	P	4
3.	現時点での施設計画の概要	P	5
4.	今後のスケジュール	P	11

令和8年8月3日

政策推進部・教育委員会・シティプロモーション部・都市整備部

1. 進捗状況

(1) 基本設計者の決定

- ・令和8年1月から進めてきた公募型プロポーザルの結果、「株式会社石本建築事務所名古屋オフィス」を基本設計者に決定した。
- ・現在、同社とともに打合せを行いながら、基本設計を進めている。

外観イメージ ※プロポーザル時の提案



滞在型図書館（3～5階）の内観イメージ ※プロポーザル時の提案



※「外観・内観イメージ」については、プロポーザル時の提案となります。当該提案を踏まえ、今後の基本設計を進めながら検討し、具体化していくこととしています。

(2) 市民意見等の聴取

- ・基本設計については、今年度中の取りまとめに向けて施設計画の検討を行っており、今後、市民ワークショップ等でご意見をいただき、基本設計に反映することとしている。

○令和8年度のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 基本設計業務	4/30 基本設計者 決定	6/1 基本設計業務 契約										
② アドバイザリー会議 (学識経験者への意見聴取)				7/10 第1回		第2回	第3回	第4回			第5回	
③ 市民ワークショップ				7/8 募集開始	8/6 第1回	9/5 第2回						
④ エリアプラットフォーム 図書館分科会	5/7 第1回		7/2 第2回	8月中旬頃(予定) 第3回	設計の進捗に応じ、適宜開催							
⑤ 各障がい者団体					8月～9月 各障がい者団体							
⑥ 自治会					8月～9月 自治会							
⑦ 文化団体					8月～9月 文化団体							
⑧ 四日市市立 図書館協議会					8月～9月 四日市市立 図書館協議会							

①基本設計の検討体制

- ・庁内の基本設計検討体制としては、施設計画・整備を担当する政策推進部まちなか拠点創造課が中心となり、教育委員会図書館、シティプロモーション部文化課などで構成するプロジェクトチームを立ち上げ、協働で検討を進めている。
- ・基本設計を進める上で、中立的な立場から、高度な専門知識や先進事例の実績に基づく客観的なアドバイスをいただくため、学識経験者2名によるアドバイザリー会議を設置し、設計の進捗に応じて助言等をいただくこととしている。
- ・令和8年7月10日に、第1回会議を開催し、「階をまたいだ利用を生み出すための施設と駐車場の接続部への工夫」や、「多目的な利用も想定するホールの音響設定」等について、助言等をいただいた。

アドバイザリー会議

【図書館学識経験者】
愛知工業大学
工学部 建築学科
中井孝幸 教授
※四日市市立図書館協議会委員

【ホール学識経験者】
三重大学
工学研究科 建築学専攻
大月淳 准教授

②市民ワークショップの実施

- ・知と交流の拠点施設の計画地については、幅広い世代のニーズに対応した滞在型図書館を核としつつ、多目的ホール等の多世代交流機能、カフェ等の憩いの空間、情報発信機能を取り入れた“複合型の拠点施設”として、「機能同士の相乗効果を生み出す」ことを目指している。
- ・また、計画地が近鉄四日市駅と JR 四日市駅を結んだほぼ中間に位置し、大四日市まつり等の大規模イベントが行われる諏訪新道と三滝通りに面する角地に立地することを踏まえ、周辺の商店街や中央通りなど「“まち”とつながる1階部分などの低層部の使い方」などが重要となる。
- ・そこで、市民の皆さまとともに新しい施設をより良くするために、スターアイランド跡地を対象とした市民ワークショップ等でいただいた新図書館に関する市民意見に加えて、新たに、「建物1階・2階に計画している多目的にも利用できる小規模ホールや、ワークショップスペースなどの多世代交流機能、カフェなどの憩いの空間の使い方」、「図書館と連携した使い方」を中心に意見をいただき、基本設計に反映するためのワークショップを開催する。

○ワークショップの案内チラシ



第1回 **8.6** (木)
2026 **14:00-16:00**
場所: じばさん6階展示室
定員: 30名程度 参加費: 無料

第2回 **9.5** (土)
2026 **14:00-16:00**
場所: 本町プラザ1階ホール
定員: 30名程度 参加費: 無料

【申し込み方法】
参加を希望される場合、右側の2次元
バーコード又は直接お申込みください。
(締め切り: 第1回: 7/28、第2回: 8/21)

【問い合わせ】
西日市市 政策推進部 まちなか拠点創造課
tel: 059-354-8414
nashinakacity.yokkaichi.mie.jp

お申込みはこちらから！

ご来場の際は公共交通機関を
ご利用ください。

【令和5年度 新図書館に関するワークショップ等でいただいた市民意見と対応方針】

- ・「市民一般」のほか、「高校生限定」、「子育て世帯」といった、3つのカテゴリーを設定し、それぞれ2回ずつ合計6実施し、延べ104人の方々に参加いただいた。

○開催経緯

回	開催年月日	対象者	主な検討内容	参加人数
1	令和5年7月17日(月・祝)	市民一般	・フロア構成等	26名
2	令和5年8月10日(木)	高校生	・フロア構成、ティーンズエリアのあり方等	14名
3	令和5年9月12日(火)	子育て世帯	・フロア構成、子育てエリアのあり方等	15名
4	令和5年10月28日(土)	子育て世帯	・フロアデザインの方向性、子育てエリアの要望等	13名
5	令和5年10月28日(土)	高校生	・フロアデザインの方向性、ティーンズエリアの要望等	12名
6	令和5年11月23日(木・祝)	市民一般	・フロアデザイン案に対する追加要望、見直し要望等	24名

○「令和5年度ワークショップでの主な意見」と「知と交流の拠点施設への対応方針」

	令和5年度ワークショップでの主な意見	知と交流の拠点施設への対応方針
フロア構成	市民が自由に使えるイベント・交流スペースの設置	1, 2階を想定
	児童・子育てのフロアを下層階に配置	3階を想定
	一般図書に合わせて点字資料等のバリアフリー資料を下層階に配置	4階を想定
	調べ物対応の機能を上層階に配置	5階を想定
	ティーンズエリアの設置	6階を想定
諸室	児童・子育てのフロアに子ども用トイレや授乳室の設置	設置に向けて検討
	児童・子育てのフロアに、現図書館にある「かまくら」のような籠れる場所の設置	設置に向けて検討
	子どもが泣いた時に避難できるスペースの設置	他の諸室との重ね使いを検討
	子どもを見守りつつ親もくつろげるスペースの設置	設置に向けて検討
	独立した静かな学習室、複数人で活動するグループ学習室、カウンタータイプの個人学習席など、種類の異なる学習環境の確保	設置に向けて検討
	様々な閲覧席や防音機能をもつ「静読室」の設置	設置に向けて検討
	居心地良く、利用しやすい高さの本棚の設置	設置に向けて検討
動線	館内専用エレベーター(複数台)、エスカレーター(上り、下り)、階段の確保	設置に向けて検討
その他	飲食可能なスペースの確保	設置に向けて検討
	各階に受付カウンターの設置	設置に向けて検討
	自動販売機の設置	設置に向けて検討

③エリアプラットフォームとの連携

- ・令和8年1月、商店街振興組合、地域団体、市等で構成するエリアプラットフォームにおいて、「図書館分科会」が設置された。
- ・図書館分科会については、エリアプラットフォームによるこれまでのまちづくりの経緯を踏まえ、主に、本施設の1階部分の使い方等、“まち”とのつながりを中心にご意見等をいただいている。
- ・これまでに2回の会議を行っており、直近となる令和8年7月2日には、1階部分の使い方を中心にワークショップ形式で開催し、「カフェは諏訪新道に面した近鉄四日市駅側に配置し、テラス席があると良い」などのアイデアをいただいている。
- ・引き続き、エリアプラットフォームへの意見聴取など、まちづくり活動との連携を図っていく。

④障がい者団体への意見聴取

- ・四日市市身体障害者団体連合会の協力のもと、エリアプラットフォームに参画している地域団体「ライブラリーフレンズ四日市」が主催した「ユニバーサルデザインを考えるワークショップ」において、本市の職員も参加して意見聴取を行っている。
- ・このワークショップでの意見については、令和8年7月16日に基本設計への反映に向けた市長提言をいただいております、基本設計に反映していくこととしている。
- ・また、市独自の取組みとして、過去にはスターアイランド跡地計画の際にも、同団体に意見聴取を行っており、今後、基本設計の進捗にあわせて8月～9月頃に意見聴取を行う予定。

⑤自治会への意見聴取

- ・これまでに、中部地区の5つの連合自治会長会議に出席し、事業説明を行った。
- ・今後、基本設計の進捗にあわせて8月～9月頃に意見聴取を行う予定。

⑥文化団体への意見聴取

- ・これまでに、文化会館利用者懇談会や文化協会事務局に出向き、事業説明を行うとともに、市民グループが利用しやすいホールの整備に向けて、照明等機能面や、イベント等に必要な楽屋・リハーサル室等諸室について意見聴取を行った。
- ・今後、基本設計の進捗にあわせて8月～9月頃に意見聴取を行う予定。

⑦四日市市立図書館協議会への意見聴取

- ・これまでに、新図書館整備に係る事業進捗について逐次報告を行ってきており、令和7年度の協議会では、議員説明会の内容説明や、基本設計に係る債務負担行為の予算承認の報告、基本設計業務に係るプロポーザルの内容説明など、事業進捗に合わせた説明を行っている。
- ・今後、基本設計の進捗にあわせて8月～9月頃に意見聴取を行う予定。

2. まちなかの回遊性向上に向けた取組

- ・中心市街地再開発プロジェクトにおいては、居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの形成を進め、中心市街地全体の回遊性向上に取り組んでいる。

【中央通りを中心とした回遊のイメージ】



- ・その主軸として、中央通り再編事業とあわせた「近鉄四日市駅～JR 四日市駅間」における自動運転バスの定常運行を想定している。
- ・さらに「知と交流の拠点施設」の開館に合わせ、同施設へのアクセス手段として、より多くの市民が利用可能なルートへの延伸を図る計画である。

【「知と交流の拠点施設」開館後の想定ルート】



3. 現時点での施設計画の概要

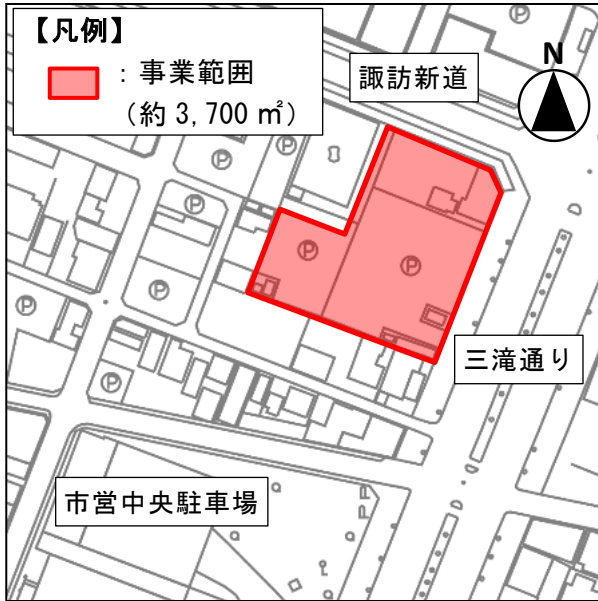
(1) 概要

事業範囲 (建築敷地)	知と交流の拠点施設		併設駐車場	
	建築面積	延床面積	建築面積	延床面積
約 3,700 ㎡	約 2,300 ㎡	約 11,200 ㎡	約 1,100 ㎡	約 6,600 ㎡

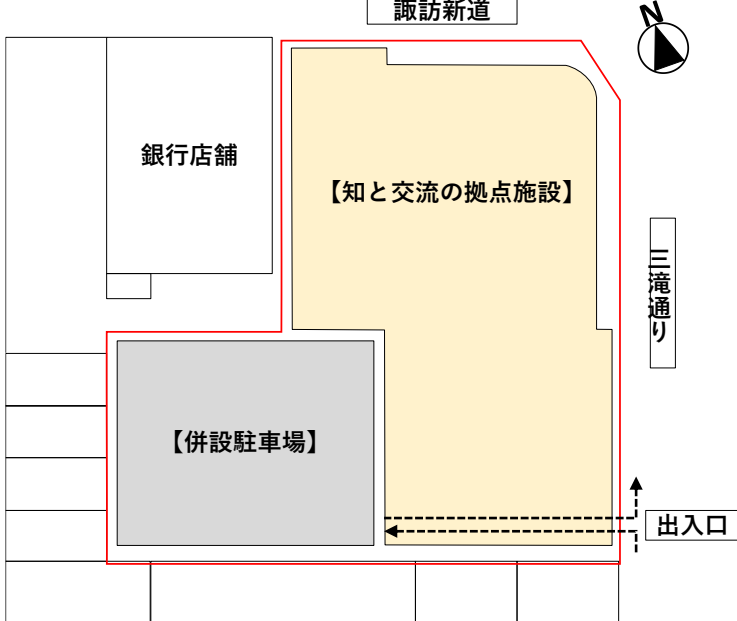
○図書館機能における施設計画上の目標値

	現図書館	知と交流の拠点施設	
		新図書館	小規模ホール等
階数	地上 3 階、地下 1 階	3 ～ 7 階	1, 2 階
延床面積	4,147 ㎡	約 7,700 ㎡	約 3,500 ㎡
収蔵冊数	約 44.7 万冊 ※令和 7 年度実績	約 60 万冊 ※将来的には 70 万冊	—
閲覧席数	146 席	500 席程度	250 席程度 ※観覧席数
学習席数	153 席	170 席程度	—
利用者数	約 22.6 万人 ※令和 7 年度実績	100 万人 ※拠点施設全体での目標値	

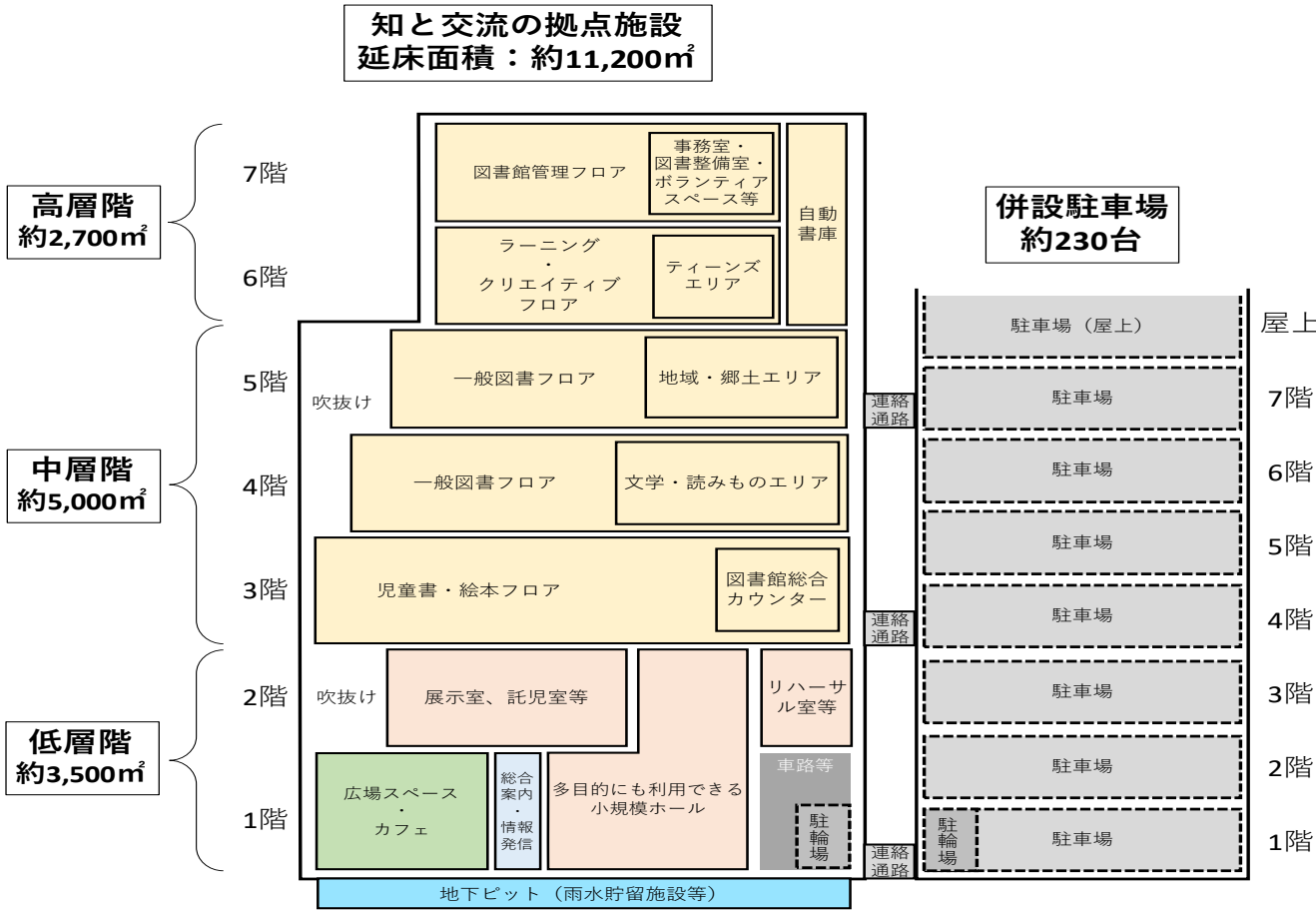
○事業範囲



○建物配置 (イメージ)



○現時点でのフロア構成のイメージ



※本施設からの雨水流出抑制を図るため、地下ピットの空間を活用した雨水貯留施設を導入する。

(2) 併設駐車場・駐輪場

①併設駐車場

- ・ピーク時の駐車場需要については、図書館とホールの一般利用者のほか、ホールイベント時の運営者利用をあわせた 395 台を想定する。
- ・本施設利用のピークを見込む休日については、市営駐車場の時間貸し分 165 台の利用が可能であることから、併設駐車場としては約 230 台を確保する。
- ・道路から併設駐車場へのアクセス方法については、本施設 1 階のレイアウトとあわせて検討した結果、三滝通り側に出入口を配置する。
- ・施設本体と駐車場の接続については、施設の 1 階、3 階、5 階で接続することで、利便性の向上を図る。
- ・また、車椅子使用者を含む障害者のほか、妊産婦など歩行が困難な方の外出を支援するための「おもしろい駐車場」については、施設との接続口に近い場所への配置を基本とし、今後、関係団体等への意見聴取も行いながら、駐車台数や配置を検討する。

②駐輪場

- ・駐輪場需要としては、ピーク時の利用で 170 台と推計しており、施設の 1 階や併設駐車場の 1 階に駐輪場を確保する。

(3) 低層階（1階、2階）：小規模ホールを中心とした多世代交流フロア

- ・1階には、多目的にも利用できる250席程度の「小規模ホール」や「楽屋・練習室」等を配置する。
- ・また、「総合案内・情報発信」、「カフェ」の他、イベント開催やホール利用時のホワイエとしても機能する「広場スペース」、ホール等への「搬入スペース」等を設ける。
- ・2階には、“動的”なワークショップスペースとして、既存の文化団体等の意見も聞いた上で、小規模ホールと一体利用が可能な「リハーサル室」や「展示室」、「託児室」等を整備していく。



小規模ホールのイメージ



リハーサル室のイメージ



展示室のイメージ



託児室のイメージ

(4) 中層階（3～5階）：児童書・絵本フロア、一般図書フロア

- ・3～5階は“スキップモール”と名付けた、段床式のワンルーム空間とし、多様な読書スペースと様々な活動が緩やかにつながる構成とする。
- ・3階が図書館の玄関フロアにあたることから、「図書館総合カウンター」を配置する。
- ・3階は『児童書・絵本フロア』とし、小さな子どもや親子が靴を脱いで自由に本を読んだり、ちょっとした遊びを楽しめる「プレイスペース」等を配置する。
- ・4階は「文学・読みもの」を中心とした『一般図書フロア』、5階は「調べもの」を中心とした『一般図書フロア』とする。



中層階（3～5階）：図書館開架フロアのイメージ

(5) 高層階（6階、7階）：ラーニング・クリエイティブフロア、図書館管理フロア

- ・6階は『ラーニング・クリエイティブフロア』とし、「ティーンズエリア」のほか、様々な学習ニーズに対応するため、会話やディスカッションが可能な「交流学习スペース」、個室の「グループ学習室」、「個人学習室」を設ける。
- ・また、“静的”なワークショップスペースとして、3Dプリンタ等のデジタル技術にふれながら学びを体験できる「ファブスペース」、「講座室」等、図書館利用と一体的なフロアとして整備する。
- ・7階は『図書館管理フロア』とし、「事務室」や「図書整備室」、「ボランティアスペース」とする。
- ・6階～7階にかけて、「自動書庫」を設ける。



交流学习スペースのイメージ



グループ学習室のイメージ



個人学習室のイメージ



ファブスペースのイメージ



講座室のイメージ

【ファブスペースを備えた図書館の事例】

- ・豊島区上池袋図書館「ファブスペース」
- ・門真市KADOMADO「テックラボ」
- ・石川県立図書館「モノづくり体験スペース」
- ・豊橋市まちなか図書館「メイカーズラボ」
- ・浦安市立中央図書館「ファブスペース」
- ・県立長野図書館「モノコトベース」
- ・塩尻市立図書館えんぱーく「ファブラリー」

(6) 移動図書館拠点施設

- ・移動図書館拠点施設については、橋北幼稚園跡地への設置を検討する。

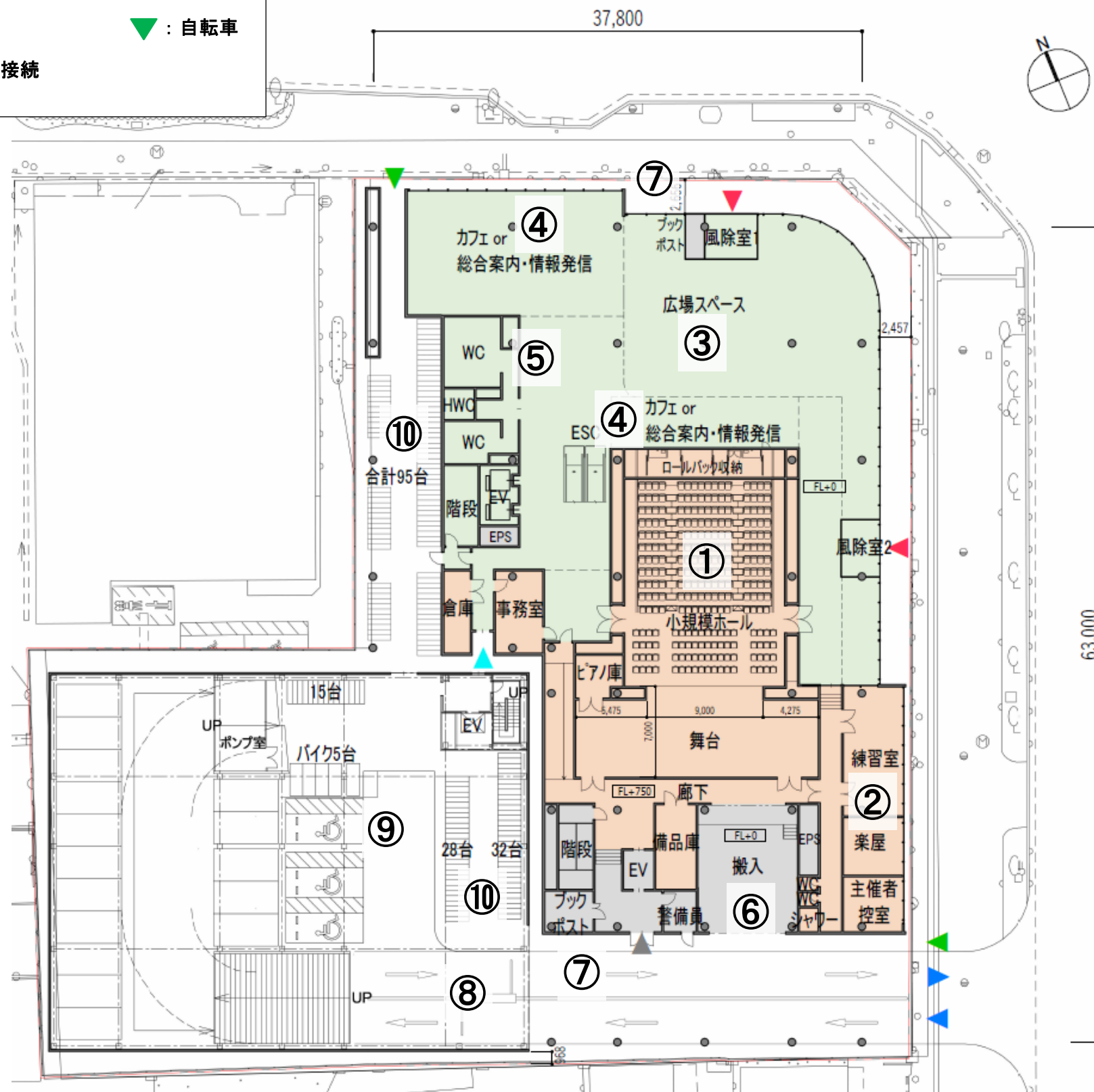


参考資料：現時点の各フロア平面計画

○ 1 階

【凡例】

- ▲：利用者（歩行者等） ▼：運営者
▲：車両 ▼：自転車
▲：駐車場との接続



【1 階の平面計画の概要】

[施設計画]

- ①「小規模ホール」については、観覧席を折りたたんで壁面に収納することで、多様な空間活用が可能となる移動観覧席（ロールバックチェア）を採用し、250 席程度の座席数とする。
- ②小規模ホールに付随し、「楽屋・練習室」等を配置する。
- ③「カフェ」、「総合案内・情報発信」と一体となり、イベント開催やホール利用時のホワイエとしても機能する「広場スペース」を設置する。
- ④カフェや総合案内・情報発信の配置など、建物 1 階部分のレイアウトについては、今後予定する市民ワークショップでのご意見も踏まえて検討する。
- ⑤ 1 階のトイレについては、小規模ホールイベント時の休憩時間にトイレ利用が集中することも想定し、女性用トイレを多く設置する。

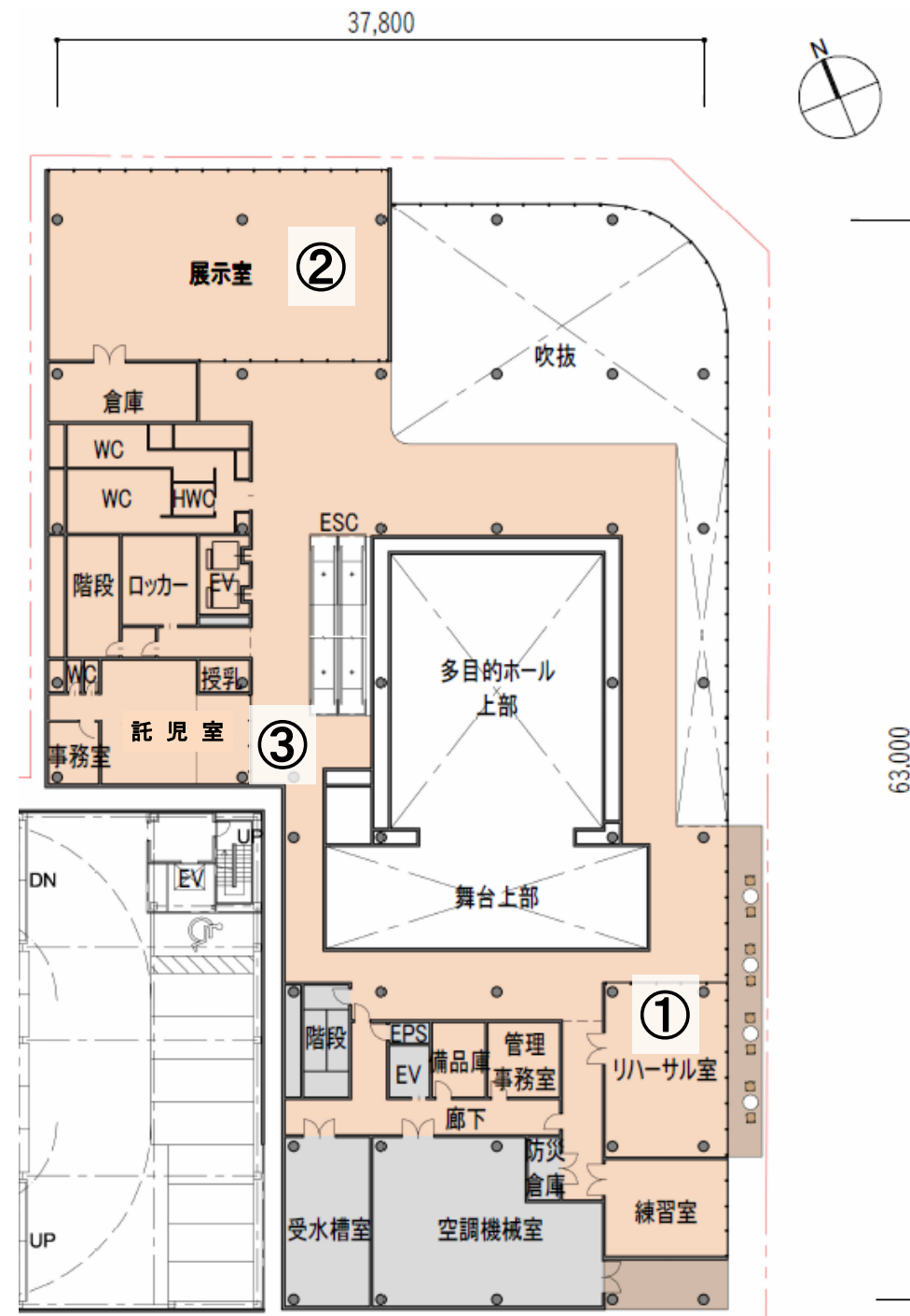
- ⑥円滑な運営やイベント催事が可能となるよう、ホールや図書館への搬入スペースなど、運営者の動線を建物南側に集約する。

- ⑦図書館閉館時にも図書返却が可能なブックポストを 1 階に設ける。

[駐車場・駐輪場計画]

- ⑧併設駐車場については約 230 台を確保し、三滝通り側に出入口を配置する。
- ⑨車椅子利用者を含む障がい者のほか、妊産婦など歩行が困難な方の外出を支援するための「おもいやり駐車場」については、施設との接続口に近い場所への配置を基本とし、今後、関係団体等への意見聴取も行いながら、駐車台数や配置を検討する。
- ⑩自転車駐輪場については、合計 170 台を確保することとし、諏訪新道側と三滝通り側それぞれからアクセスできるように配置する。

○ 2 階



【2階の平面計画の概要】

- ①小規模ホールの舞台と同じ広さの空間で本番前のリハーサルが行える「リハーサル室」を設ける。
- ②利用者ニーズに応じて間仕切変更可能な「展示室」を設ける。
- ③小規模ホール利用時だけでなく、1階の広場スペースでのイベントや、図書館で親子イベントを開催する場合などでも活用できる「託児室」を設ける。

○ 3 階

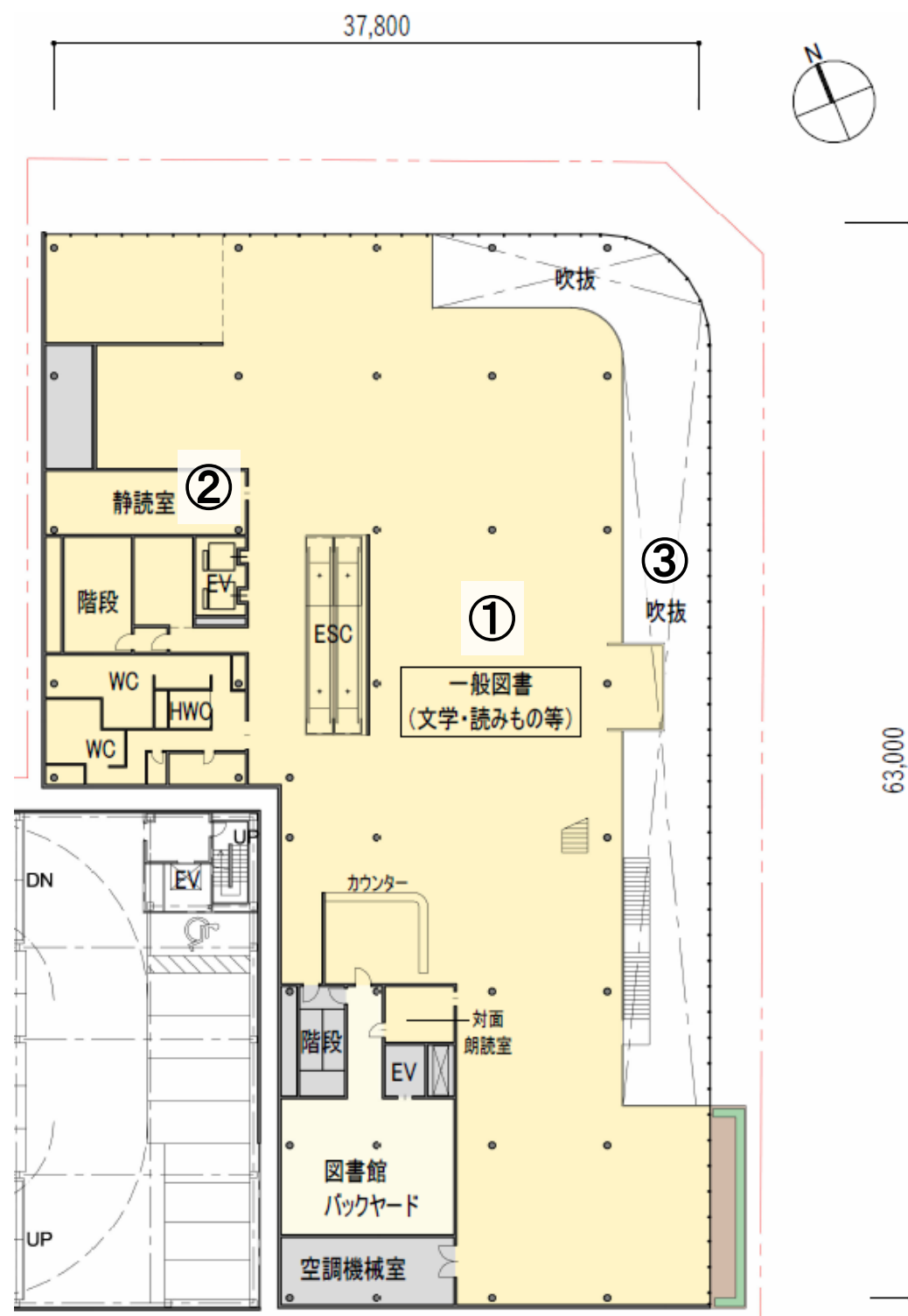
【凡例】
 : 駐車場との接続



【3階の平面計画の概要】

- ①施設の3階で駐車場と接続する。
- ②図書館の玄関口となる3階に「図書館総合カウンター」を配置する。
- ③3階全体を『児童書・絵本フロア』とし、書棚の低層化を図るとともに、こどもと見守る親と一緒に本を楽しめる閲覧席や、十分なスペースを確保する。
- ④小さな子どもや親子が靴を脱いで自由に本を読んだり、ちょっとした遊びを楽しめる「プレイスペース」を配置する。
- ⑤プレイスペースの近くには、こどもが泣いたときの避難場所としての活用も可能となる、「対面朗読室」、「屋根付きのテラス空間」を設ける。
- ⑥読み聞かせに対応した「おはなしのへや」のほか、現図書館にもある籠れる空間の「かまくら」を設置する。
- ⑦「幼児用トイレ」や「授乳室」等を設置する。
- ⑧三滝通り側のテラスには、屋外での読書も楽しめるよう、テーブルとイスを配置する。

○ 4 階

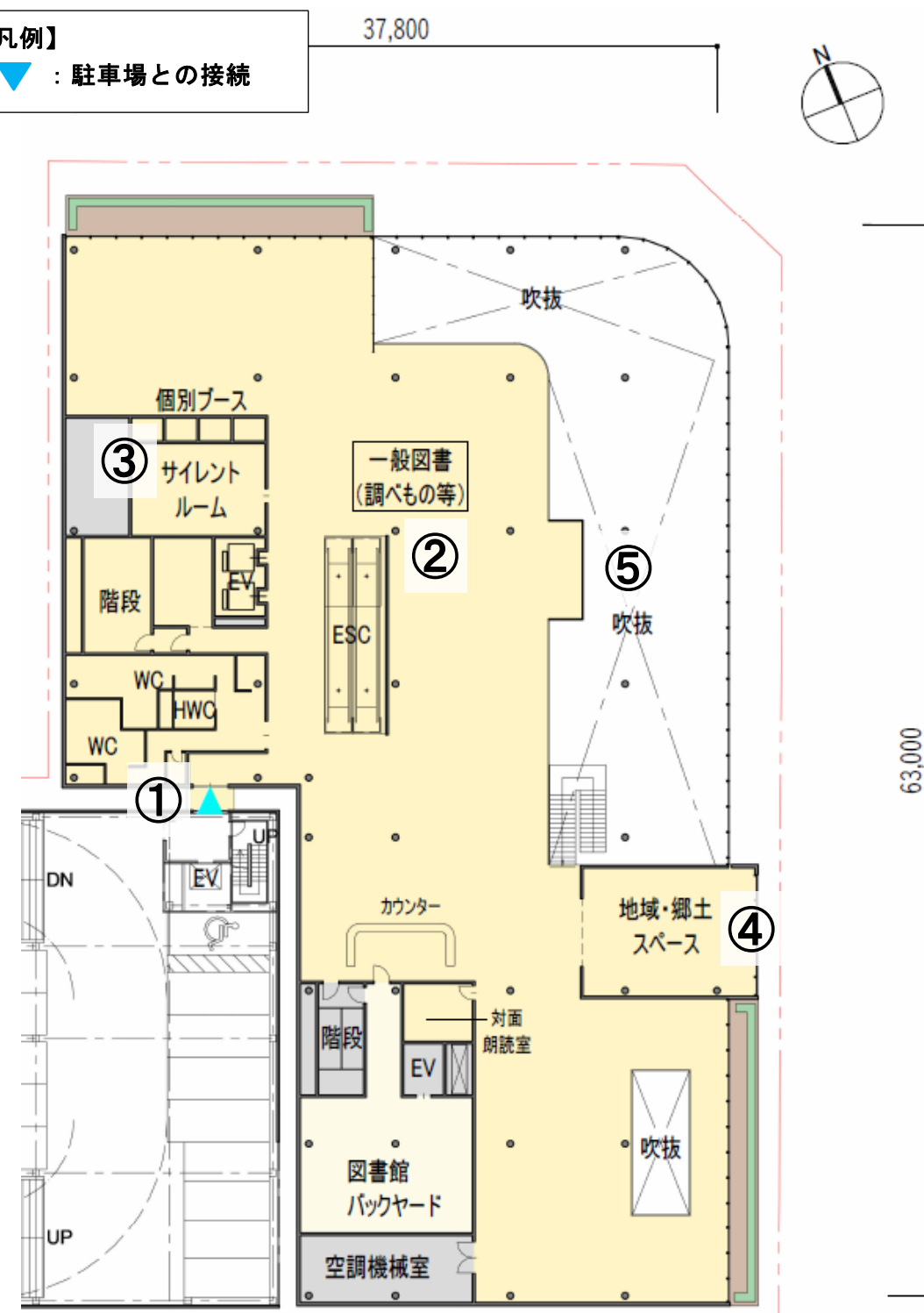


【4 階の平面計画の概要】

- ① 4 階は「文学・読みもの」を中心とした『一般図書フロア』とし、様々なタイプの閲覧席の配置について、今後、詳細な検討を進める。
- ② 静寂とにぎわいを緩やかにつないだ会話を許容する中で、静寂ニーズに対応するため、吹抜けから離れた位置に、防音機能により静寂を確保した「静読室」を設ける。
- ③ 館内に開放感をもたらし、上下階のつながりを生む「吹抜け」を設ける。

○ 5 階

【凡例】
 : 駐車場との接続



【5 階の平面計画の概要】

- ① 施設の 5 階で駐車場と接続する。
- ② 5 階は「調べもの」を中心とした『一般図書フロア』とし、様々なタイプの閲覧席の配置について、今後、詳細な検討を進める。
- ③ キーボード音が出るパソコン等が使用できない「サイレントルーム」や、個人利用ニーズに対応した「個人ブース」を設ける。
- ④ 地域・郷土資料を配架した「地域・郷土スペース」を設ける。
- ⑤ 館内に開放感をもたらし、上下階のつながりを生む「吹抜け」を設ける。

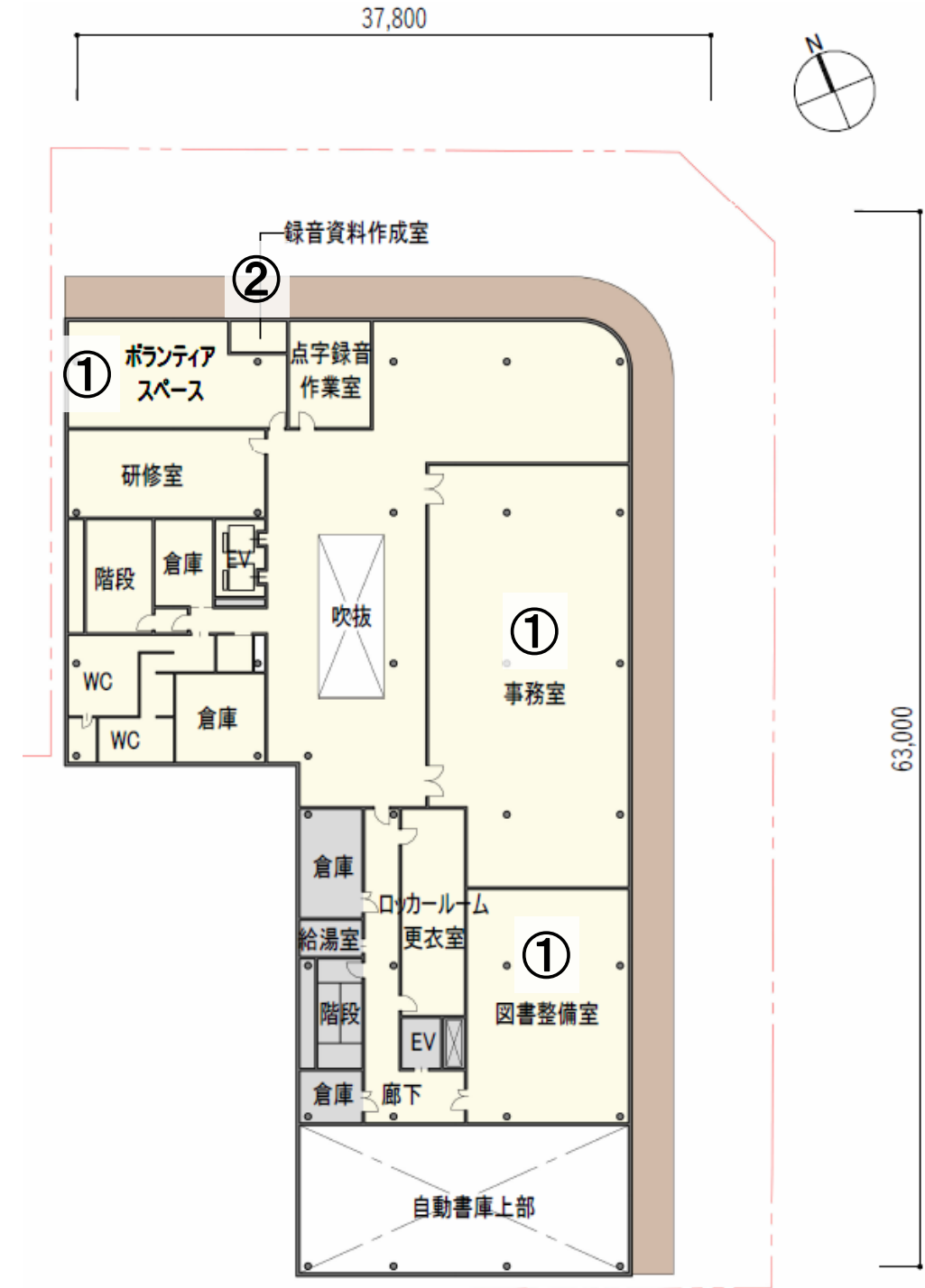
○ 6 階



【6 階の平面計画の概要】

- ① 6 階は『ラーニング・クリエイティブフロア』とし、ティーンズエリアのほか、様々な学習ニーズに対応するため、会話やディスカッションが可能な「交流学習スペース」、個室の「グループ学習室」、「個人学習室」を設ける。
- ② “静的”なワークショップスペースとして、講座室、3Dプリンタ等のデジタル技術にふれながら学びを体験できる「ファブスペース」等を設ける。
- ③ 一般利用者が利用する6階までは、エスカレーターを設置することで施設内の上下移動を支援する。
- ④ 三滝通り側のテラスには、屋外での読書も楽しめるよう、テーブルとイスを配置する。
- ⑤ 6 階～7 階にかけて、「自動書庫」を設ける。

○ 7 階

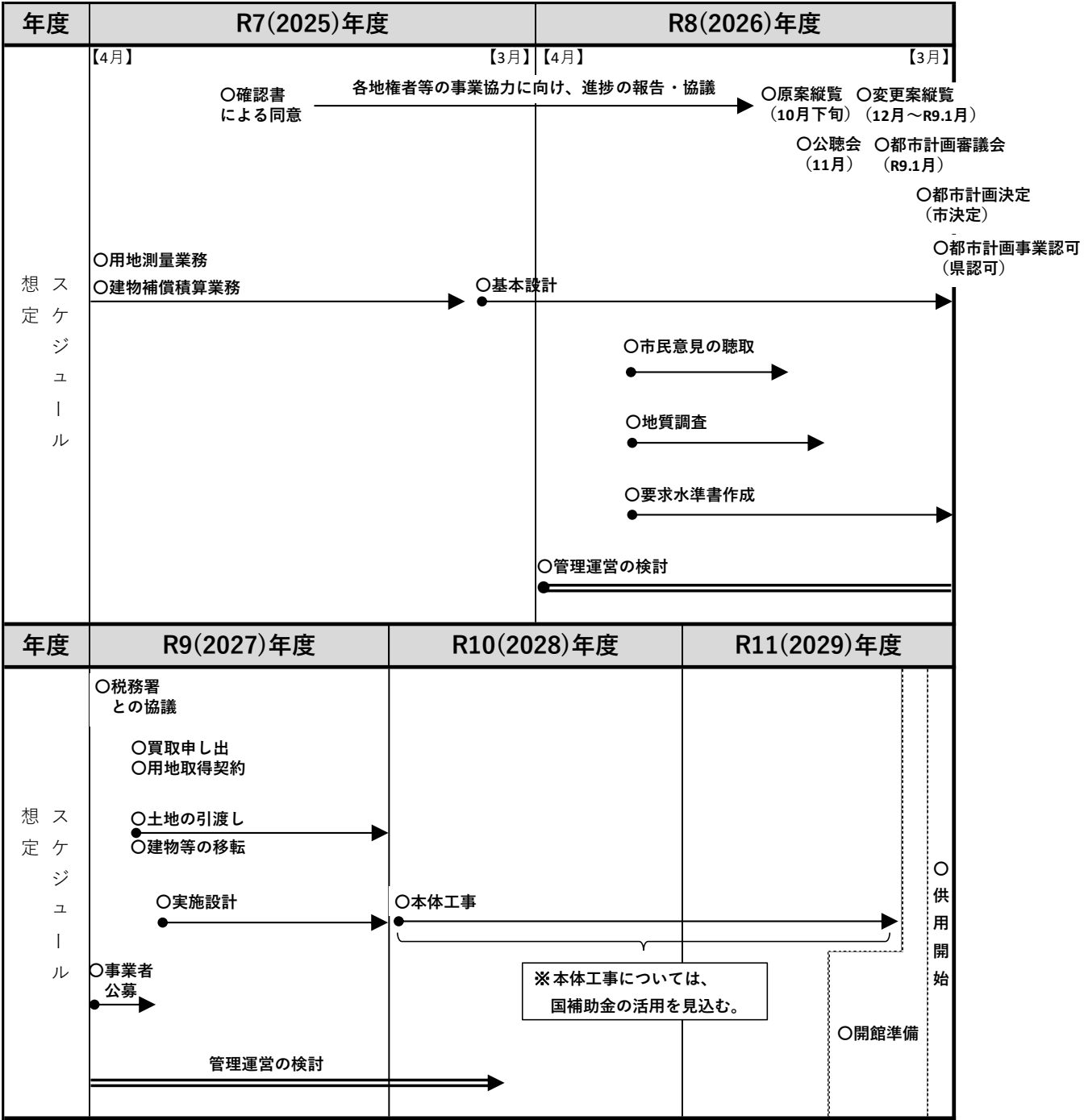


【7 階の平面計画の概要】

- ① 7 階は『図書館管理フロア』とし、「事務室」や「図書整備室」、「ボランティアスペース」等を配置する。
- ② ボランティアスペース内に、防音機能を備えた「録音資料作成室」を設ける。

4. 今後のスケジュール

- ・今年度中の基本設計の取りまとめ、及び令和9年1月～2月頃の都市計画決定、令和9年3月中の都市計画事業認可取得に向けて施設計画の検討を進める。
- ・基本設計に市民意見等を反映し、より良い施設計画とするため、市民ワークショップの実施や、エリアプラットフォームと連携した取組を進めるとともに、障がい者団体等への意見聴取を実施する。
- ・また、実施設計から工事の段階においては、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）を採用する方向で検討を進めており、令和9年度にプロポーザルにより施工者選定を行うこととなるため、基本設計と並行して、設計・工事に係る事業費や工期設定等の実施条件、建築の基本方針、施工者に求める内容や最低限の水準を取りまとめた、要求水準書を作成する。
- ・各地権者等が、知と交流の拠点施設整備事業にご協力いただくに際し、「収用等の課税の特例（5,000万円控除等）」の適用に向け、都市計画決定（市決定）・都市計画事業認可（県認可）に向けた手続きを進める。
- ・具体的な手続きとしては、秋頃から都市計画決定手続きを開始し、12月～令和9年1月頃に都市計画決定の「案縦覧」を行った上で、令和9年1月頃を予定する都市計画審議会に諮っていく。
- ・収用等の課税の特例を適用するための都市計画事業認可には、「事業計画を示した各階平面図、立面図等」が必要となることから、今後、基本設計を進め関係機関との協議が整った後に、正式な買取申し出を行い、用地取得契約を結ぶこととなる。
- ・令和9年度の用地取得契約に向け、概算金額を基に用地取得・建物補償に係る交渉作業等を並行して進める。



※各工程が最短で進んだ場合